

『環境問題常識テスト』

★以下の問題にチャレンジして、環境知識レベルをチェックしてみてください。

〈答えは3面の最下段に掲載〉

- 1.経済産業省が「CO₂を炭素資源として捉え、これを回収し、多様な炭素化合物として再利用すること」と定義しているのは何か？
a.石油増進回収 b.ゼロエミッション電源 c.カーボンリサイクル d.CO₂フリー水素
- 2.略称はIUCN。設立は1948年。自然保護や天然資源保全のための調査研究、政策提言などを行う国際的な団体。毎年レッドリストも発行する組織はどれか？
a.国連環境計画 b.国際自然保護連合 c.経済協力開発機構 d.世界自然保護基金
- 3.正式名称は国連教育科学文化機関。目的は、教育、科学、文化の分野における国際協力により世界の平和と安全に貢献すること。この組織の略称は何という？
a.UNESCO(ユネスコ) b.UNEP(ユネップ) c.NGO(エヌジーオー) d.COP(コップ)
- 4.発電コストが低いとされるベースロード電源(地熱、一般水力、原子力、石炭火力)からの電力を取引する市場がJEPXに新設された。その名称は？
a.スポット市場 b.非化石価値取引市場 c.間接送電権市場 d.ベースロード市場

【環境市場新聞:R2冬季第59号より転載】

『環境トピックス』【1】 新型コロナウイルス感染症に有効な対策

人間の体には感染症に対抗する、自己免疫力や回復力が備わっています。しかしながら夜更かしなどで睡眠不足になると、本来の1日の周期に合わせてリズムを刻んでいる体内時計に狂いが生じ、自己免疫力や回復力が低下し、結果的にウイルスに負け感染症にかかりやすくなってしまいます。そこで以下の事柄に留意し体内時計を正しく整えることが感染症予防に有効といえます。

- 1.夜は早く寝るようにしましょう《成長ホルモンは寝始めに多く分泌され、22:00~2:00の間が最大になります。成長ホルモンは心身の疲れやストレスを癒し、老化の進行を抑制したり細胞組織の修復に効果があります》
- 2.飲酒は就寝の3時間前までにしましょう《アルコールには深い眠りを妨げ、利尿作用を促進する成分が含まれていますので無駄にトイレ等に起きる回数が増え、結果的に眠りが浅くなります》
- 3.寝る前のスマホやパソコンはNGです《眠気を起こす「メラトニン」というホルモンは、免疫力を上げますが、暗くなると分泌されず。スマホ等から出るブルーライトは目に入ると脳が昼間と錯覚しこの大切なホルモン分泌を抑制してしまいます》
- 4.朝は定時に起き朝日を浴びて、朝食を食べましょう《朝日を浴びることにより、体内時計がリセットされます。また、体に蓄えられているブドウ糖は約12時間分しかありませんので、朝食を取り栄養素を補給して日中活動がしっかりできる状態にする事が、ウイルス等に負けない体となるには重要といえます》

【参考文献・広報かわくち第858号】

『環境トピックス』【2】 SDGs 具体的取組み施策



環境保全

現在取組んでいる省エネ・温暖化対策等を、役職員全員が積極的に取組みます。

- *ISO14001の認定継続と実践
- *クールビズ・ウォームビズの実施とクールオアシス※1への参加
- *環境保全に向けた商品・サービスの提供
- *緑化推進事業への参加及び協力
- *「エコ玉プロジェクト」※2をはじめとする、環境に配慮した活動を推進する企業への支援

- ※1 外出時の一時休息所の設置や熱中症予防のための情報発信拠点のこと
- ※2 マイクロプラスチック等有害物質の削減を目指す活動で埼玉県が支援している



『環境保全等へ向けた商品』

カーライフプラン

- *最大1,000万円まで無担保、返済期間は最長10年まで!!
- 《エコカー購入などに利用できる変動金利型のカーライフプラン・エコの場合》
- *電気自動車・プラグインハイブリッド自動車・低燃費かつ低排出ガス認定自動車等の環境に優しい新車のご購入を、金利引下げで応援します。



『環境保全等へ向けた取り組み』

職員の名刺をCaMISHELL製造法で作成

当金庫職員の名刺の一部を卵殻10~50%使用したパルプ代替利用のCaMISHELL製造法で作成し、環境に配慮した取り組みを行っております。今後も様々な取り組みを通じて、脱プラスチック、古紙・木材パルプの使用削減により、CO₂の減少に努めてまいります。



第14号

令和2年11月発行

かわしんの 環境活動報告書



撮影場所:見沼田んぼ
撮影者:大和田保夫(土呂支店取引先)

かわしんはISO14001を平成16年5月に取得し、環境保全活動を実践しています。



https://www.shinkin.co.jp/ksb/

〒332-8686 埼玉県川口市栄町3丁目9番3号
TEL048-253-3333 FAX048-254-2665

このパンフレットは環境に配慮し、世界の森林資源の責任ある利用を保證する「FSC®認証紙」にベジタブルインク(植物油インク)で印刷されています。



JQA-EM4039
本部及び本店営業部

「かわしん」はコロナに負けず 地域経済の発展と環境保全に貢献する 信用金庫を目指しています。

皆さん、こんにちは。

今年は年初から新型コロナウイルス感染症が世界中で猛威を振るい、多くの方が感染し現在も闘病中の方や命をおとされた方もおいでになります。改めて罹患された方々には心よりお見舞い申し上げます。

また新型コロナウイルス感染症はこれから、私たちの生活や事業にどのような影響を与えるのか先行きが見通せない状況ですが、川口信用金庫では金融・非金融両面で皆様のお役に立てるよう役職員が全力でアドバイスやサポートを行ってまいりますので、ぜひご相談下さい。

さて、当金庫は環境面では平成16年にISO14001を取得し、これまで電力使用量の削減や紙の使用削減等によりCO₂の発生を減少させる「環境負荷低減活動」などの取組みを長年に亘り行って参りましたが、本年4月に国連の持続可能な開発目標に賛同し、引続き「環境保全」に取り組むと共に、新たに「地方創生」「社会貢献」の取組みを公表すべくSDGs宣言を行いました。

これからも金融機関として、皆様に本業業務を通じて環境保全を初めとした持続可能な開発目標に寄与する取組みを継続推進し、「環境報告」などを通じてご報告して参りますので、一層のご支援、ご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

令和2年11月

理事長 木村 幹雄



環境方針

I. 基本理念

川口信用金庫は、「堅実公正な経営に徹し、地域社会の繁栄に奉仕する」を経営の基本とし、協同組織による地域金融機関としての社会的使命と公共的使命を自覚し、全役職員が一丸となって地域の発展と環境保全に積極的に取り組みます。

II. 基本方針

1. 当金庫が行う事業活動が、環境に影響を及ぼす要因を的確にとらえ、技術的・経済的に可能な範囲で環境目的・目標を定めるとともに、定期的或いは諸条件の変化に対応し適宜レビューを行い、継続的に改善し、環境汚染の予防に取り組みます。
2. 上記事業活動が環境に影響を及ぼす要因の中で、特に、地域社会への貢献、中小企業経営再建支援、および福祉・環境を大切にす真の地元金融機関を目指した活動に重点を置き、地域社会との連携を強化しつつ環境保全に取り組みます。
3. 環境に関連する適用可能な法的要求事項及び業界行動指針等、その他の要求事項を順守します。
4. 一人ひとりが環境問題に対する認識を深め、環境マネジメントシステムの効果をあげる為、この環境方針を全役職員、又は当金庫のために働く全ての人に周知徹底を図ります。
5. この環境方針を金庫内外に広く公開します。

私たちの環境目標 令和2年度目標

I. 環境に有害な影響を及ぼすものへの削減取り組み

1	電力の使用	令和2年度の電力使用量を平成21年度比▲10.50%削減する
2	廃棄物の分別と排出	廃棄物の分別を推進するとともに令和2年度の物件費(別に定める費目)を平成21年度比▲10.50%削減し排出量の削減を図る
3	紙の使用・廃棄	令和2年度の紙費用を平成21年度比▲10.50%削減する

II. 環境に有益な影響を及ぼすものへの取り組み

1	既存の環境関連金融商品の拡販
2	新規の環境関連金融商品の企画・開発・販売
3	OA機器の効率的活用
4	コンプライアンス及び信頼性・健全性の確保
5	顧客へのISO普及・支援
6	各種地域貢献活動の立案及び実行
7	環境関連のその他サービスの提供

『緑化推進事業』への協力

1.「彩の国みどりの基金」に200万円寄付を致しました。県の環境保全活動に役立ててもらおう意図であり、環境クリーン定期関係寄付では第1回から第3回募集分までは(財)さいたま緑のトラスト協会に対して750万円、第4回から第22回募集分までは彩の国みどりの基金に対し3,900万、通算で環境クリーン定期は22回の募集、寄付総額は4,650万円となりました。

2.「フラワーロード 緑と花でつくる川口の元気!!」のスローガンの基、フラワースタンドの設置に協賛し川口市の緑のまちづくり推進に協力しております。



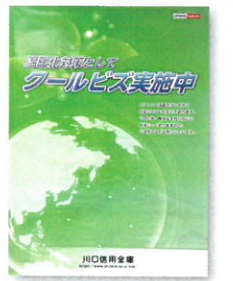
『まちのクールオアシス』への参加

埼玉県の「まちのクールオアシス」推進事業に協力し、熱中症についての情報発信拠点として、また来店客の一時休息所を設置することにより、熱中症等のお客様の臨時避難所として、適切な対応を行う態勢を整えております。



『クールビズ・ウォームビズ』の徹底

地球温暖化防止対策として、「クール・ビズ」「ウォーム・ビズ」の実施により電力使用抑制に努めています。具体的には、エアコン稼働の設定温度を遵守する等、各部店各々の工夫により、二酸化炭素(CO₂)の排出量削減努力を行っています。



『エコライフDAY2020』への積極的参加

川口市は『地球環境にやさしい心を育むまち』として、CO₂排出削減や地球環境保全の施策・取組を推進しています。その代表的な活動である「エコライフDAY」は、2000年に川口市で始まり全国で取り組まれています。かわしんは2010年からこのエコライフDAYに参加しています。令和2年6月に行われた取り組みには職員601人が参加CO₂削減量は64万4047グラムになりました。みなさんも簡単なチェックシートで生活の中で出来る環境への配慮を点検・実践できますのでぜひ参加してください。



『環境意識の啓発と徹底』

全職員はEMS(環境マネジメントシステム)カードを携帯しており、かわしんが掲げる『環境方針』/『わたしたちの環境目標』/『私たちの環境行動ルール』が記載されています。(環境目標は毎年更新しています)



『職員(内部監査員)への研修』

本部、本店営業部への異動者及び新入職員・パート職員を対象に環境教育を実施しています。環境マネジメントに基づいて計画的、継続的に行うことで環境に対する職員の知識と環境意識を啓発、向上させています。



平成31年度(令和元年度)の事業活動・環境活動

●電力とCO₂排出量の削減

平成27年度から基準年度を「平成21年度」とし、引き続きより高い目標に挑戦していますが、今年も猛暑の影響により電力使用料は70万kWhとなり、基準年度と比較し54千kWh・8.4%増加しました。しかしながら役職員の努力もあり、前年比では▲20千kWh、▲2.74%減少致しました。今後も、冷暖房設備の稼働状況の決め細やかなチェックと次年度に向けて更なる見直し作業を実施し、削減努力を図ります。

●廃棄物の削減

事業活動に投入した全ての資源は消費され、廃棄されることから、物品の購入金額から廃棄物全量を把握しています。削減目標の基準年度である平成21年度(平成22年3月末)比にて、▲9,037千円、▲6.8%減少致しました。今後も継続する所存です。(経費を使用した削減算定方式はISO更新時審査のストロングポイント評価を頂いております)

●紙の使用

削減目標の基準年度である平成21年度(平成22年3月末)比にて、廃棄物全体のうち「紙の使用量」及び「排出量」について検証しました。基準年度比 ▲12,443千円、▲13.8%減少致しました。▲7.0%の削減目標に対し目標は達成しており、削減効果は持続しております。